
第 129 回松本歯科大学大学院セミナー

日 時: 2006 年 10 月 13 日(金) 16 時 30 分~17 時 30 分

場 所: 実習館 2 階総合歯科医学研究所セミナールーム

演 者: アマルサイカーン 氏 (モンゴル保健医科大学歯学部長)

タイトル: モンゴルの歯科事情

モンゴル共和国は、独立後、社会主義から資本主義へ移行したことで、社会経済状況は急変し、急激な健康破壊が進んでいる。遊牧の習慣から、調味料は塩だけで、油を多く摂取する食生活である。そのため肥満などによる生活習慣病が増えている。遊牧民が多かった頃は虫歯が少なかったが、今やどんな地方でもキャンディーなど甘いものが普及するようになり、とくに子供たちに虫歯が増えている。

モンゴル政府は、歯科公衆衛生活動に積極的に取り組むとして、本年 9 月 24 日に、この国で初めての、「口腔保健の日」の行事を、首都の国民広場で開催した。歯の健康優良者を表彰したり、歯科診療車を使って、広場で口腔診査を実施するなどの活動を行った。

モンゴル共和国の歯科事情について、現状と今後の課題に関して報告したい。

担当:健康増進口腔科学講座 中 田 稔